

令和6年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立第一中学校

校長名 島田 治

教育目標

人間尊重の精神を基盤として、進んで学び、心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成する

- (1) 進んで学び正しく判断できる生徒
- (2) 心豊かな思いやりのある生徒
- (3) 健やかでたくましい生徒

1 目指す特色ある学校像

自己を生かし、他者を生かす生徒を育てる学校づくりを目指す

- (1) 基礎的・基本的な学力の定着や体力の向上を目指し、授業の充実・改善を図り、心身ともに健やかな生徒が育つ学校
- (2) 地域との連携を図り、地域から学び、地域に貢献できる生徒が育つ学校
- (3) 道徳的心情や道徳的実践力を身に付けることを目指し、心豊かな生徒が育つ学校

2 経営の具体策

人権教育を推進し、生徒一人一人を生かす教育を実践する。

- (1) 年間3回以上の自尊感情やいじめの実態把握のための調査を実施する。
- (2) 月3回の校内委員会にて生徒情報を共有し、不登校生徒やいじめ防止等、特別な支援が必要な生徒一人一人への適切な対応を図る。
- (3) 体罰や不適切な指導をしない・させない職場づくりを徹底する。
教員の授業力の向上と生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- (1) 電子黒板やタブレット等のICTを活用した授業実践を行う。
- (2) 各種検定、定期考査を実施し、学習計画表等の作成を通して家庭学習を定着させ、その目標を達成しようと努力する生徒を育成する。
- (3) 夏季休業中に、基礎を定着させる補習授業を学年単位で1週間程度実施し、学力の定着を図る。

小中一貫教育推進に向けた方策

- (1) 研究主題を「感じたことを大切にし、思いや願いを実現する児童・生徒の育成」と設定し、9年間を見通した事業実践に取り組む。年間3回中学校区で研究授業を行う。
- (2) スマイルコンサートを更に充実させて、小中一貫教育を柱とした音楽発表の場と位置付け、地域に広く公開し保小中高による演奏会を実施する。人と人との絆を大切にし、桜まつりに生徒を参加させ、まちづくりに貢献する。